



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2007年11月30日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	<p>①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>第3期決算以降、毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 留保益の運用については特に制限を設げず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型)

運用報告書(全体版)

第103期(決算日 2025年1月10日)

第104期(決算日 2025年3月10日)

第105期(決算日 2025年5月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)』は、このたび、第105期の決算を行いました。ここに第103期から第105期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜お問い合わせ先＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話 : 03-6711-9200(代表)

受付時間 : 営業日の9時~17時

ホームページアドレス : <https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index (参考指数)	期中騰落率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
第31作成期	91期(2023年1月10日)	円 9,849	円 30	% 2.1	1,635.5	% 2.7	% 0.6	% 97.2	百万円 1,664
	92期(2023年3月10日)	10,243	30	4.3	1,656.1	1.3	0.6	97.5	1,724
	93期(2023年5月10日)	10,031	30	△ 1.8	1,663.0	0.4	0.6	97.5	1,683
第32作成期	94期(2023年7月10日)	10,545	30	5.4	1,732.7	4.2	0.6	96.7	1,742
	95期(2023年9月11日)	10,367	30	△ 1.4	1,796.5	3.7	0.6	97.4	1,698
	96期(2023年11月10日)	10,719	30	3.7	1,802.5	0.3	0.6	96.6	1,736
第33作成期	97期(2024年1月10日)	10,640	30	△ 0.5	1,795.2	△ 0.4	0.6	96.5	1,691
	98期(2024年3月11日)	11,259	30	6.1	1,929.4	7.5	0.6	97.9	1,742
	99期(2024年5月10日)	11,610	30	3.4	2,095.3	8.6	0.6	97.6	1,776
第34作成期	100期(2024年7月10日)	12,720	30	9.8	2,311.1	10.3	0.5	97.2	1,933
	101期(2024年9月10日)	10,821	30	△ 14.7	1,982.2	△ 14.2	0.6	97.0	1,637
	102期(2024年11月11日)	12,353	30	14.4	2,287.9	15.4	0.5	97.2	1,870
第35作成期	103期(2025年1月10日)	12,267	30	△ 0.5	2,233.6	△ 2.4	0.5	96.7	1,839
	104期(2025年3月10日)	11,764	30	△ 3.9	2,186.7	△ 2.1	0.6	96.6	1,737
	105期(2025年5月12日)	11,583	30	△ 1.3	2,176.0	△ 0.5	0.6	96.7	1,706

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

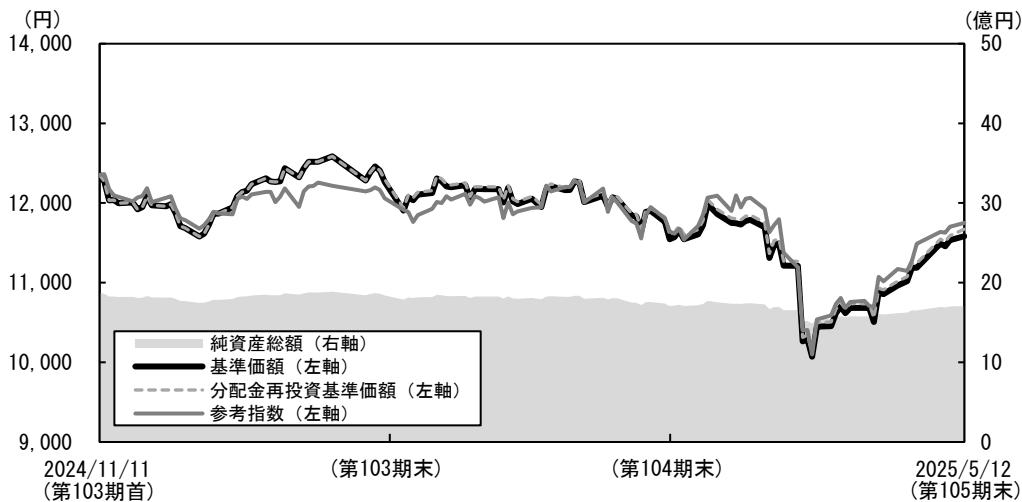
■ 当作成期間中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
		(参考指数)	騰 落 率		
第103期	(期 首) 2024年11月11日	円 12,353	% —	% —	% 0.5 97.2
	11月末	11,685	△ 5.4	2,182.8	△ 4.6 0.6 97.1
	12月末	12,586	1.9	2,262.4	△ 1.1 0.5 97.0
	(期 末) 2025年 1月10日	12,297	△ 0.5	2,233.6	△ 2.4 0.5 96.7
第104期	(期 首) 2025年 1月10日	12,267	—	2,233.6	— 0.5 96.7
	1月末	12,174	△ 0.8	2,225.8	△ 0.3 0.5 96.7
	2月末	12,050	△ 1.8	2,223.6	△ 0.4 0.6 96.9
	(期 末) 2025年 3月10日	11,794	△ 3.9	2,186.7	△ 2.1 0.6 96.6
第105期	(期 首) 2025年 3月10日	11,764	—	2,186.7	— 0.6 96.6
	3月末	11,695	△ 0.6	2,209.0	1.0 0.6 96.6
	4月末	11,019	△ 6.3	2,064.5	△ 5.6 0.6 96.7
	(期 末) 2025年 5月12日	11,613	△ 1.3	2,176.0	△ 0.5 0.6 96.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2024年11月12日～2025年5月12日)



第103期首 : 12,353円

第105期末 : 11,583円(既払分配金90円)

騰落率 : △5.5% (分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指標は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指標は期首(2024年11月11日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

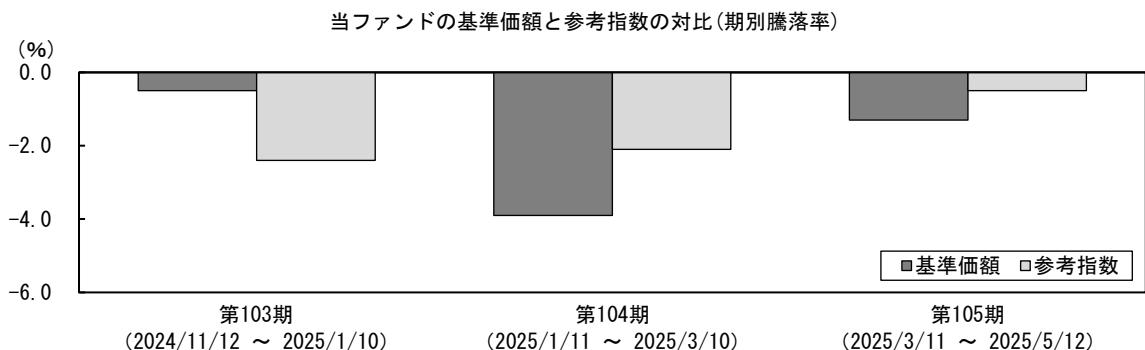
香港市場やインド市場の上昇が基準価額の上昇要因となりました。一方、台湾市場の下落や多くのアジア通貨が円に対して下落したことが基準価額の下落要因となりました。

3) ベンチマークとの差異

※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。

下記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指標の騰落率との対比です。

※ 参考指標は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

(アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式)

トランプ米大統領の関税政策への懸念により、アジア株式市場は先行き不透明感が続いています。一方で、米国が関税引き上げの姿勢をみせているにもかかわらず、中国市場と香港市場は今後を楽観視する見方が改めて広がりました。中国政府は長年にわたって各業界への規制・監視を続けてきましたが、習近平国家主席と民間企業のトップとの会談によって、民間企業、とりわけテクノロジー企業の活動を明確に下支えする方針が打ち出されたという見方が広がったためです。インド市場は、銀行に対する規制緩和、外国人機関投資家の投資の再開、民間消費や政府支出の拡大、経済指標が良好だったことなどにより堅調に推移しました。

中東諸国、特にサウジアラビアはここ数年、石油依存からの脱却を積極的に進めています。政府の景気刺激策によって経済の多様化が進み、原油への依存度が低下することから、成長軌道が継続しています。

(国内債券・短期金融市場)

2016年2月より導入された「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」により国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなっていましたが、2024年3月21日よりマイナス金利が解除され利回りがプラスに転じました。しかし、政策金利は低いままであるため利回りは低い水準で推移しました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を主要投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、主にアジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに対してプラスに寄与した主な銘柄は、Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd(香港／金融)、Tencent Holdings Ltd(中国／コミュニケーション・サービス)、Alibaba Group Holding Ltd(中国／一般消費財・サービス)、Bharti Airtel Ltd(インド／コミュニケーション・サービス)などです。

Hong Kong Exchanges & Clearing Ltdは、中国市場と香港市場が上昇しており、市場心理が強気であることから香港証券取引所で取引が活発化し、株価が上昇しました。

同社は香港証券取引所、香港先物取引所、ロンドン金属取引所を運営しています。香港において唯一の取引所運営会社として、株式および株式関連商品の取引を独占的に取り扱える稀有な立場にあります。

Tencent Holdings LtdとAlibaba Group Holding Ltdは、米国が関税引き上げの姿勢をみせているにもかかわらず、中国市場と香港市場は今後を楽観視する見方が改めて広がったため株価が上昇しました。中国政府は長年にわたって各業界への規制・監視を続けてきましたが、習近平国家主席と民間企業のトップとの会談によって、民間企業、とりわけテクノロジー企業の活動を明確に下支えする方針が打ち出されたという見方が広がったためです。

インドの大手通信会社のBharti Airtel Ltdは、多様なサービスポートフォリオを有し、国際的に大きな存在感を示して、株価は上昇しました。同社はインド以外にもアフリカと南アジアで事業を展開し始め、全世界で多くの顧客にサービスを提供しています。モバイルサービス、企業向けソリューション、家庭用プロードバンド、デジタルサービスなど、ポートフォリオの多様化を進めていることから、国内外で続くデジタル変革の動きに乘じる上で好位置につけていると考えております。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスに対してマイナスに影響した主な銘柄は、Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd(台湾／情報技術)、Ememory Technology Inc(台湾／情報技術)、Telkom Indonesia Persero Tbk PT(インドネシア／コミュニケーション・サービス)、Bank Central Asia Tbk(インドネシア／金融)などです。

中国のAI(人工知能)開発企業DeepSeek社が従来より大幅に低いコストで高性能のAIを開発したこと、テクノロジー関連銘柄が高い成長率を維持するという期待感が薄まりました。それを受けた台湾の半導体メーカーであるTaiwan Semiconductor Manufacturing Co LtdとEmemory Technology Incは主にAIへの過剰投資に対する懸念から下落しました。しかしながら、台湾のこれらのメーカーは世界の半導体業界における優位性を維持するでしょう。Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltdは、米国で大規模投資を行う意向を示していることから、半導体に戦略的重要性があること、台湾が同セクターで世界の覇権を握りたいという野心を持っていることは明らかです。

インドネシア市場は、新たに設立された政府系投資ファンドにガバナンス上の懸念があることや、国軍法の改正によって現役軍人の政府機関に対する監視を強化する道が開かれたことから、投資家は依然として慎重姿勢を維持しています。さらに、通貨安と消費支出低迷の影響で、Telkom Indonesia Persero Tbk PTやBank Central Asia Tbkは下落しました。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

< スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資します。

< SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

< スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは、隔月(奇数月、原則10日)に安定的な分配を行うことを目指しております。

第103期、第104期、第105期における分配金は、それぞれ1万口当たり30円(税込み)とさせていただきました。

なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔分配原資の内訳〕

(単位:円 1万口当たり・税込み)

項目	第103期 (2024年11月12日～ 2025年1月10日)	第104期 (2025年1月11日～ 2025年3月10日)	第105期 (2025年3月11日～ 2025年5月12日)
当期分配金 (対基準価額比率)	30 (0.24 %)	30 (0.25 %)	30 (0.26 %)
当期の収益	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,717	3,733	3,748

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下の数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第103期～第105期 2024年11月12日～2025年5月12日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	55円	0.464%	(a) 信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(11)	(0.093)	
(販売会社)	(42)	(0.354)	
(受託会社)	(2)	(0.017)	
(b) その他費用	5	0.042	(b) その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
(監査費用)	(2)	(0.017)	
(印刷費用)	(3)	(0.025)	
合計	60	0.506	
作成期中の平均基準価額は11,868円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

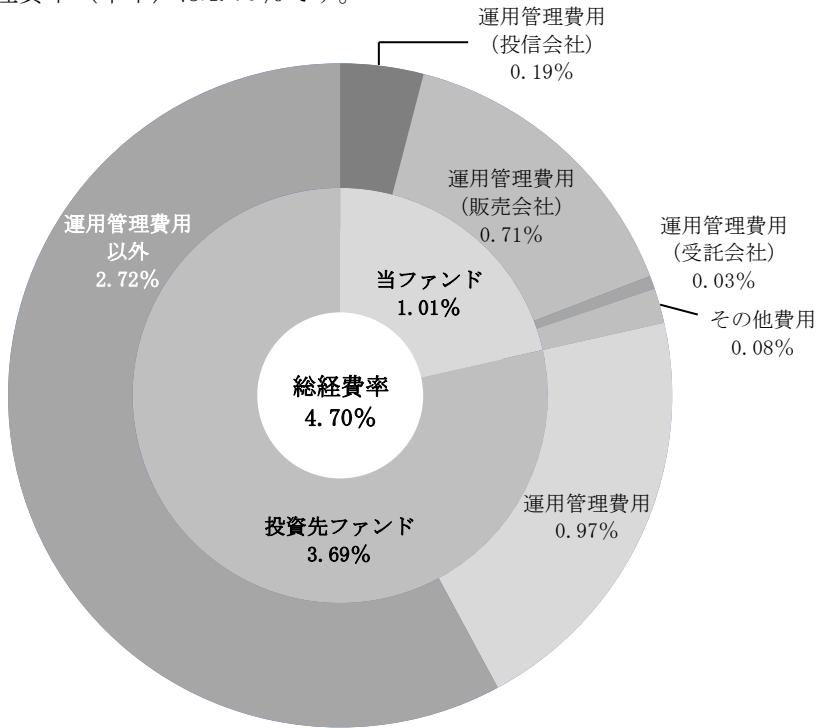
(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

(参考情報)

○ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.70%です。



総経費率 (①+②+③)	4.70%
①当ファンドの費用の比率	1.01%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.97%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	2.72%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
SPARX・アジア・ミドライースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 —	千円 —	千口 4	千円 45,954

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

該当事項はありません。

■ 主要な売買銘柄 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
—	千口 —	千円 —	SPARX・アジア・ミドライースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 4	千円 45,954

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当作成期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
投資証券	百万円 —	百万円 45	百万円 1,649

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドライースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2024年11月12日から2025年5月12日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2025年5月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第34作成期末		第35作成期末	
	口数	口数	評価額	比率
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 152	千口 148	千円 1,649,659	% 96.7
合計	口数・金額 銘柄数 <比率>	152	148 1,649,659	— 1銘柄 <96.7%>

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第34作成期末		第35作成期末	
	口数	口数	評価額	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 9,964	千口 9,964	9,996	9,996

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、9,974千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2025年5月12日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2025年5月12日現在)

項目	第35作成期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 1,649,659	% 96.1
スパークス・マネー・マザーファンド	9,996	0.6
コール・ローン等、その他	56,393	3.3
投資信託財産総額	1,716,048	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第103期末 2025年1月10日	第104期末 2025年3月10日	第105期末 2025年5月12日
(A) 資産	1,847,297,636 円	1,745,188,676 円	1,716,048,348 円
コール・ローン等	59,120,078	56,463,771	56,391,790
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	9,981,272	9,935,436	9,996,218
投資証券(評価額)	1,778,196,108	1,678,788,928	1,649,659,800
未収利息	178	541	540
(B) 負債	7,646,795	7,663,038	9,771,758
未払収益分配金	4,499,139	4,431,107	4,419,358
未払解約金	17,145	204,404	2,390,216
未払信託報酬	2,833,189	2,750,575	2,687,981
その他未払費用	297,322	276,952	274,203
(C) 純資産総額(A-B)	1,839,650,841	1,737,525,638	1,706,276,590
元本	1,499,713,161	1,477,035,805	1,473,119,503
次期繰越損益金	339,937,680	260,489,833	233,157,087
(D) 受益権総口数	1,499,713,161 口	1,477,035,805 口	1,473,119,503 口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,267 円	11,764 円	11,583 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 作成期首元本額 1,514,537,812 円
 作成期中追加設定元本額 8,425,681 円
 作成期中一部解約元本額 49,843,990 円

■ 損益の状況

項目	第103期 自 2024年11月12日 至 2025年1月10日	第104期 自 2025年1月11日 至 2025年3月10日	第105期 自 2025年3月11日 至 2025年5月12日
	(A)配当等収益 受取配当金 受取利息 (B)有価証券売買損益 売買益 売買損 (C)信託報酬等 (D)当期損益金(A+B+C) (E)前期繰越損益金 (F)追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) (G)合計(D+E+F) (H)収益分配金 次期繰越損益金(G+H) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) 分配準備積立金 繰越損益金	9,798,192円 9,790,108 8,084 △ 15,076,712 781,302 △ 15,858,014 △ 3,130,511 △ 8,409,031 438,668,867 △ 85,823,017 (54,888,186) (△ 140,711,203) 344,436,819 △ 4,499,139 339,937,680 △ 85,823,017 (54,888,186) (△ 140,711,203) 502,572,556 △ 76,811,859	9,813,130円 9,789,344 23,786 △ 76,655,991 466,208 △ 77,122,199 △ 3,027,527 △ 69,870,388 418,656,401 △ 83,865,073 (54,844,865) (△ 138,709,938) 264,920,940 △ 4,431,107 260,489,833 △ 83,865,073 (54,844,865) (△ 138,709,938) 496,541,058 △ 152,186,152
(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。			
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。			
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。			

② 分配金の計算過程

項目	第103期	第104期	第105期
費用控除後の配当等収益額	A 6,667,681円	6,785,603円	6,718,174円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B 一円	一円	一円
収益調整金額	C 54,888,186円	54,844,865円	55,760,363円
分配準備積立金額	D 500,404,014円	494,186,562円	494,163,941円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E 561,959,881円	555,817,030円	556,642,478円
当ファンドの期末残存口数	F 1,499,713,161口	1,477,035,805口	1,473,119,503口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G 3,747.11円	3,763.05円	3,778.66円
1万口当たり分配金額	H 30円	30円	30円
収益分配金額 (I=F×H/10,000)	I 4,499,139円	4,431,107円	4,419,358円

■ 分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金(税込み)
第103期	30円
第104期	30円
第105期	30円

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
 - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。
なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

■ お知らせ

2025年4月1日付で以下のとおり投資信託約款の変更をいたしました。

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、当ファンドの投資信託約款に所要の変更を行いました。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

＜参考情報＞

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	BNP Paribas, Hong Kong Branch
受 託 会 社 代 理 人	BNP Paribas, Singapore Branch
保 管 会 社	BNP Paribas, Singapore Branch

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2025年5月9日現在)

外国株式等

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)	FIRST ABU DHABI BANK PJSC	百株 568	千UAEディルハム 887	千円 35,069	主要銀行	
小計	株数・金額	568	887	35,069		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 2.1%>		
(オーストラリア市場)	ARISTOCRAT LEISURE LTD CSL LTD TRANSURBAN GROUP XERO LTD	百株 39 18 522 8	千豪ドル 262 426 750 136	千円 24,388 39,606 69,704 12,616	カジノ・ギャンブル バイオテクノロジー その他輸送 パッケージ・ソフトウェア	
小計	株数・金額	587	1,574	146,314		
	銘柄数・比率	4銘柄	—	< 8.7%>		
(中国市場)	KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	百株 6	千人民元 955	千円 19,159	アルコール飲料	
小計	株数・金額	6	955	19,159		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 1.1%>		
(香港市場)	AIA GROUP LTD ALIBABA GROUP HOLDING LTD BINJIANG SERVICE GROUP CO LT CHINA STATE CONSTRUCTION INT FIRST PACIFIC CO HAIER SMART HOME CO LTD-H HONG KONG EXCHANGES & CLEAR HSBC HOLDINGS PLC SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP TENCENT HOLDINGS LTD	百株 874 131 480 4,643 7,960 718 87 360 186 108	千香港ドル 5,379 1,619 1,246 5,265 4,386 1,637 3,240 3,150 1,070 5,342	千円 100,487 30,245 23,267 98,341 81,928 30,579 60,520 58,841 19,978 99,781	総合保険 インターネット販売 不動産開発 建設・土木 食品総合 電化製品 投資銀行・ブローカー 主要銀行 衣料・履物 パッケージ・ソフトウェア	
小計	株数・金額	15,547	32,333	603,969		
	銘柄数・比率	10銘柄	—	<35.7%>		

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(インドネシア市場)		百株	千インドネシアルピア	千円		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		4,380	3,942,000	34,661	主要銀行	
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK		11,839	3,078,140	27,065	無線通信	
小計	株数・金額	16,219	7,020,140	61,726		
	銘柄数・比率	2銘柄	—	< 3.7%>		
(インド市場)		百株	千インドルピー	千円		
BHARTI AIRTEL LTD		164	30,271	51,508	無線通信	
HDFC BANK LIMITED		112	21,110	35,919	主要銀行	
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA		119	21,171	36,023	特殊保険	
LEMON TREE HOTELS LTD		2,368	30,729	52,287	ホテル・リゾート関連	
SBI CARDS & PAYMENT SERVICES		327	28,606	48,675	金融・レンタル・リース	
小計	株数・金額	3,090	131,887	224,413		
	銘柄数・比率	5銘柄	—	<13.3%>		
(韓国市場)		百株	千韓国ウォン	千円		
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD		76	417,850	43,370	通信機器	
小計	株数・金額	76	417,850	43,370		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 2.6%>		
(サウジアラビア市場)		百株	千サウジアラビアリヤル	千円		
SAUDI AWWAL BANK		110	380	14,709	主要銀行	
小計	株数・金額	110	380	14,709		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 0.9%>		
(シンガポール市場)		百株	千シンガポールドル	千円		
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS		927	362	40,462	主要通信	
小計	株数・金額	927	362	40,462		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 2.4%>		
(タイ市場)		百株	千タイバーツ	千円		
ADVANCED INFO SERVICE-NVDR		510	15,453	68,010	無線通信	
小計	株数・金額	510	15,453	68,010		
	銘柄数・比率	1銘柄	—	< 4.0%>		

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
91APP INC	570	4,862	23,364	パッケージ・ソフトウェア	
EMMEMORY TECHNOLOGY INC	90	22,320	107,256	半導体	
MEDIATEK INC	170	22,525	108,241	半導体	
POYA INTERNATIONAL CO LTD	102	5,226	25,112	専門小売	
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	270	25,623	123,128	半導体	
小計	株数・金額	1,202	80,556	387,102	
	銘柄数(比率)	5銘柄	—	<22.9%>	
合計	株数・金額	38,842	—	1,644,305	
	銘柄数(比率)	32銘柄	—	<97.2%>	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) <>は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2024年11月9日

至 2025年 5月9日

(単位：千円)

収益

受取配当金	16,628
受取利息	417
解約差益	0
その他収益	14
	17,061

収益計

費用

支払利息	0
受託会社報酬	18,968
監査報酬	2,920
源泉税	1,337
管理運営会社報酬	8,701
管理事務報酬	1,573
設立費償却	0
その他費用	11,974
	45,476

費用計

純投資損益

投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益

投資有価証券売買損益	29,767
為替差損益	28,779
	58,546

投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減

有価証券未実現純評価損益増減	△43,718
為替未実現純評価損益増減	△81,642
	△125,361

営業活動による純資産の純増減額

△95,230

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 17 期

決算日 2024年11月11日

(計算期間：2023年11月11日～2024年11月11日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主 要 投 資 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主 な 組 入 制 限	①株式（新株予約権証券を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額5%以内とします。
分 配 方 針	収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜お問い合わせ先＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200（代表）

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

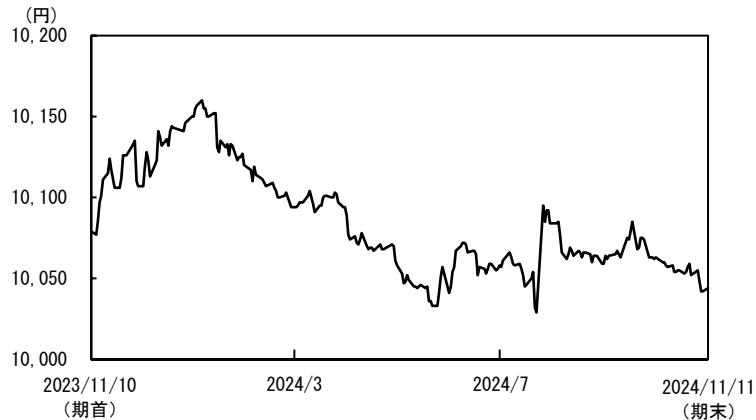
決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		
13期(2020年11月10日)	円 10,234	% △0.7	% 99.0	百万円 10
14期(2021年11月10日)	10,227	△0.1	98.8	10
15期(2022年11月10日)	10,152	△0.7	98.7	10
16期(2023年11月10日)	10,079	△0.7	98.7	10
17期(2024年11月11日)	10,044	△0.3	98.8	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
		騰 落 率	
(期 首) 2023年11月10日	円 10,079	% —	% 98.7
11月末	10,126	0.5	98.7
12月末	10,143	0.6	98.7
2024年 1月末	10,126	0.5	98.7
2月末	10,100	0.2	98.7
3月末	10,101	0.2	98.7
4月末	10,071	△0.1	98.7
5月末	10,033	△0.5	98.7
6月末	10,057	△0.2	98.7
7月末	10,032	△0.5	98.6
8月末	10,066	△0.1	98.6
9月末	10,068	△0.1	98.6
10月末	10,059	△0.2	98.8
(期 末) 2024年11月11日	10,044	△0.3	98.8

(注) 謄落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2023年11月11日から2024年11月11日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2024年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,974千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	組入比率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
国債証券	千円 10,000	千円 9,899	% 98.8	% —	% —	% 98.8	% —
合計	10,000	9,899	98.8	—	—	98.8	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債

種類	銘柄名	利税率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	第347回長期国債10年	% 0.1	千円 10,000	千円 9,899	2027/6/20
合計		—	10,000	9,899	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2024年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2024年11月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 9,899	% 98.8
コール・ローン等、その他	119	1.2
投資信託財産総額	10,018	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月11日現在)

項目	当期末
(A) 資産	10,018,857 円
コール・ローン等	115,269
公社債（評価額）	9,899,700
未収利息	3,888
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	10,018,857
元本	9,974,992
次期繰越損益金	43,865
(D) 受益権総口数	9,974,992 口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,044 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了)>

1. 期首元本額	9,994,224 円
期中追加設定元本額	— 円
期中一部解約元本額	19,232 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド（隔月分配型）	9,964,333 円
スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）	10,659 円

■ 損益の状況

当期 (自2023年11月11日 至2024年11月11日)

項目	当期
(A) 配当等収益	10,022 円
受取利息	10,042
支払利息	△ 20
(B) 有価証券売買損益	△ 45,000
売買損	△ 45,000
(C) 当期損益金(A+B)	△ 34,978
(D) 前期繰越損益金	78,945
(E) 解約差損益金	△ 102
(F) 合計(C+D+E)	43,865
次期繰越損益金(F)	43,865

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

該当事項はありません。